

事務事業チェックシート

事務事業No 333 事業名 特定医療費等関係事業

[長期総合計画]

分野別目標	4	誰もが安心して住み続けられる持続可能なまち
政策	7	健康で元気に暮らせる環境づくり
施策	4	保健医療対策の推進
取組方針	1	難病患者への相談支援体制の充実

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計		一般会計	
	款		衛生費	
	項		保健衛生費	
	目		保健所費	
	大事業		保健所事業	
	中事業		特定医療費等関係事業	

事業種別	継続		
事業期間	永年		
事業実施の根拠法令	難病の患者に対する医療等に関する法律		
関連個別計画	地域保健医療計画		
担当課・担当課長・Tel	保健対策課	豊田 忠彦	488-5115
関連課			

1 事業内容

事業目的	(「誰・何」をどういう状態にする)ための事業か 長期の療養による医療費の経済的な負担が大きい難病患者を支援するため、都道府県が難病法に基づき医療費の助成を行っている。和歌山県下では、患者の利便性を考慮し、各保健所が窓口業務を行っていることから、和歌山市においても県から事務の移譲を受け、市民からの問い合わせや申請の受付などに当たっている。 また、難病法に基づく医療費助成以外にも和歌山県独自の医療費助成の制度があり、これらの窓口業務を併せて行っている。		全体事業概要 事業に係る各種申請書、届出書等の受付及び進達並びに医療受給者証の発送等に関する和歌山県からの移譲事務を行う。 1 窓口事務 2 申請の受理、書類の確認、県への進達、県の審査を経て発行された受給者証の発送 ※例年特に処理が集中する継続申請の受付時期には特設窓口を設け対応している。				
	事業内容	平成27年度 患者からの申請書の受付及び進達並びに県から交付される受給者証の送付事務等を行った。 申請数：新規606件 継続2,693件	平成28年度 患者からの申請書の受付及び進達並びに県から交付される受給者証の送付事務等を行った。 申請数：新規 480件 継続 3,115件	平成29年度 患者からの申請書の受付及び進達並びに県から交付される受給者証の送付事務等を行った。 申請数：新規 473件 継続 3,180件	平成30年度 患者からの申請書の受付及び進達並びに県から交付される受給者証の送付事務等を行う。	平成31年度 患者からの申請書の受付及び進達並びに県から交付される受給者証の送付事務等を行う。	

2 事業コスト

事業費等(千円)	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	282	134	589	588	610	703	751	751	751	751
伸び率(%)	-	-	108.9%	338.8%	3.6%	19.6%	23.1%	▲100.0%	0.0%	-
人件費	正規職員	17,581	17,865	17,865	8,641	15,121	17,264	16,347	16,347	16,347
	正規職員以外	2,192	2,227	2,227	1,428	1,156	1,415	2,629	2,629	2,629
	小計	19,773	20,092	20,092	10,069	16,277	18,679	18,976	18,976	18,976
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	282	134	589	588	610	730	638	638	638	638
市債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一般財源(税等)	0	0	0	0	0	0	113	113	113	113
所要人数(人)	正規職員	2.30	2.35	2.35	1.09	1.90	2.16	2.05	2.05	2.05
	正規職員以外	1.23	1.23	1.23	0.95	0.77	0.85	1.62	1.62	1.62
主な予算内訳	消耗品費339千円 通信運搬費347千円									

3 目標及び実績

指標名	単位	目標値	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
			実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
活動指標 更新申請案内配布数	件	目標値					
		実績値	3,911	3,143	3,293		
		達成度(%)					
活動指標 新規申請受付件数	件	目標値					
		実績値	606	480	473		
		達成度(%)					
成果指標 特定医療費(指定難病)受給者数	人	目標値					
		実績値	3,084	3,213	2,937		
		達成度(%)					
成果指標	件	目標値					
		実績値					
		達成度(%)					

4 事業の評価

評価基準						
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい		減少している
[妥当性]事業手段は妥当か		現行の手段でよい	○	一部見直しが必要		見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能		市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む		緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない		できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか	○	達成している(90%以上)		おおむね達成(70~90%未満)		達成していない(70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度	○	重要かつ高い貢献度がある		一定の貢献度がある		貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある		できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない		見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	<p>医療費助成の対象疾病が平成30年4月から1増え、合計331疾病となった。また、難病法制定から3年間とされている経過措置が平成29年末で終了したため、経過措置対象者への十分な説明等を行っていく必要がある。拡大・複雑化する制度に対応するため、市民への丁寧な対応が求められる。</p>
見直し・改善内容	<p>平成27年度は、継続申請の期間を長くしたことで、継続申請希望者の待ち時間を大幅に減らすことができた。平成28年度以降も、効率的に事務を行うことができるようにさらなる検討を行う。</p>